

図書館だより



167

2008(平成20)年5月30日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合西養山1番地

024-535-3218 fax 024-536-4787

<http://www.library.fks.ed.jp/>

「県民を支える図書館」アクションプラン策定で

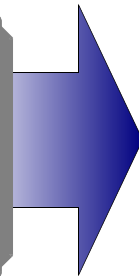
変わる県立図書館

平成20年3月、「県民を支える図書館」アクションプランを策定しました。県立図書館は、これまでにない新しい図書館像を展開し、県民に必要とされる図書館をめざします。



従来の県立図書館のイメージ

本を借りる場所
静かな空間
遠くてなかなか利用できない
新聞や雑誌を読んだり勉強をする
場所 等



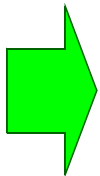
新しい県立図書館のイメージ

(これからの図書館像)

生活上や仕事上の課題を解決する場所
情報を蓄積する空間
地元でも図書館サービスを受けられる
講座への参加やインターネットの活用等、
多様な利用方法が可能な場所 等

「県民を支える図書館」アクションプラン5つの柱

県民を支える図書館



- 「図書館の図書館」として図書館振興を図ります
- 県民の暮らしのお役に立ちます
- 働く人のお役に立ちます
- 地域と文化を育むお手伝いをします
- 学ぶすべての人を応援します



アクションプランは5つの柱で構成しています。

「「図書館の図書館」として図書館振興を図ります」では、市町村をはじめ、学校や大学、類縁機関図書館・図書室との連携を進め、福島県内図書館の中心としての役割を果たします。

「県民の暮らしのお役に立ちます」「働く人のお役に立ちます」では、県民の役に立つ図書館として、生活上の様々な場面で必要となる情報を提供します。

「地域と文化を育むお手伝いをします」では、地域・文化の振興、記録として残された資料の後世への橋渡しを行います。

「学ぶすべての人を応援します」では、県立図書館まで足を運ぶことが難しい方を始め、子どもから大人まで、すべての県民が図書館サービスを受けられることをめざします。

トピックス 公開図書室に「カラー拡大読書器」を設置

この度、国の「視覚障がい者情報支援事業」を活用し、公開図書室にカラー拡大読書器を設置しました。40倍まで拡大でき、光量やピントが自動的に調整され、画面はカラー・白黒・反転の3種類で表示することができます。

操作は簡単です。どうぞご利用ください。

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お勧めの新着資料をご紹介します。

人文・自然

『子どもと健康の世界地図

-劣悪な環境におかれた子どもたち-

ブルース・ゴードンほか/著 平野裕二/訳

丸善 498.7/7082

今、未来を担うはずの子どもたちを取り囲む環境には、貧困、不衛生、不当な労働、大気汚染・水質汚染などの心身の成長に悪影響を及ぼすものが数多く存在しています。彼らが健やかに育ち、その生命を脅かされずに生きるために、私たち大人は考え、そして行動を取らなければなりません。

その第一歩として、この本で現状を知ってください。それだけでも、きっと子どもたちの明日を変える力になるでしょう。

『王朝貴族のおまじない』

繁田信一/著 坂田靖子/絵

ビイング・ネット・プレス 147.1/9082

平安王朝の人々が日々の生活の中で用いていたというおまじないを、エピソードとともに紹介した本です。呪文を唱えたり、手のひらに字を書いたり現代のおまじないとの共通点も見られます。時代が変わっても、縁起を担いだり、何かに縋りたかったりする人の心は不変なのかもしれません。

社会

「霞ヶ浦の縄文景観 シリーズ遺跡を学ぶ」

中村哲也 210.25/7084

現在より約1万年前の縄文時代、当時の人々の生活の痕跡の中で、最も大規模なものの一つが貝塚です。茨城県の霞ヶ浦周辺では、東京湾、宮城県松島付近と並んで大きな貝塚が見つかっており、現在も当時の景観をよく残しているのが特徴です。

この本ではそんな霞ヶ浦周辺の貝塚の研究の成果や、遺跡発掘の歴史、遺跡・景観保存の過程を地元の学芸員がまとめています。

「政府開発援助ODA国別データブック2007」

外務省国際協力局 R333.8/41043/6

ODAは日本の政府や機関が開発途上国の社会経済・福祉の発展のために資金や技術提供により開発途上国や国際機関に供与される協力です。

この資料では国別に協力の内容、考え方がまとまっており、普段意識することの少ない「日本の国際協力」の一端をうかがうことができます。

外務省のサイトにはかつて日本が国際社会から援助を受けた「国際協力ちょっといい話」のコーナーがあります。あわせてご覧ください

(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/hanashi/index.html>)

雑誌・新聞

最近様々な動きを見せている、日本と近隣諸国の関係について扱っている記事をご紹介します。

<日中関係>

『エコノミスト』2008.4 発行 毎日新聞社
Z330.5/E1

日中関係 対立を煽る両国メディア 食品テロを共通の敵にできない日中関係の脆さ

『Voice』2008.3 発行 PHP 研究所 Z051/V1

東シナ海ガス田が奪われる日 - 対等な日中関係は喧嘩なしでは築けない

<日韓関係>

『論座』2008.4 発行 朝日新聞社 Z305/R1

李明博政権期の課題 - 「善意の競争」が築く日韓の新たな関係

『外交フォーラム』2008.3 発行 都市出版
Z319/G6

韓国人の感じ方 - 日韓文化交流に携わって
(特集 大統領選挙後の韓国)

<日米関係>

『前衛』2008.4 発行 日本共産党中央委員会
Z315.1/Z1

対談 世界の中の日米関係と日本の進路

『潮』2008.3 発行 潮出版社 Z051/U1

米大統領選の行方と日米関係

地域

『詩集 富士山』 草野心平/著 LA911.5/K1/27

“日本の象徴は。夜も眠らん。”

草野心平(いわき出身)は、カエルの詩人として有名ですが、1943(昭和18)年には、上でご紹介した詩を含む富士山の詩集を出しています。題字は高村光太郎、写真は土門拳、校訂は土方定一という、豪華な顔ぶれによってできた一冊です。

また、この本が出版される以前、福島県内で作詩の盛んな時期がありました。『北方詩人』、『非情派』、『天性』といった雑誌が代表的な詩誌です。これらは同人誌という性質ゆえ、また、なかには宮沢賢治ら著名詩人の投稿が寄せられた号もあるなど、とても貴重な詩誌です。いずれも、安斎勇雄氏より寄贈していただきました。

『ふるさと百年のあゆみ写真集』

福島市教育委員会/編・発行 L211/F2/4

福島市が市制施行100周年を記念して作成した写真集です。この本の特徴は、市民の皆さんが提供した写真からなる写真集ということです。また、市内を15地区に分けていて、街中も田園風景もバランスよく収録されています。

当館では、県内各地の昔時が見られる写真集を多数所蔵しています。どうぞご利用ください。